

ラッコ

ぷかぷか

名人



ラッコは、北のつめたい海の上です。
ねるときも食るときも、ほとんどの時間を海の上でうきながらすごします。
赤ちゃんの毛には空気がたつぷり入っていて、うきわのように水にうかぶので、お母さんが海にもぐっているあいだも海の上でまつことができます。

体をあたためるために、毎日たくさんのえさを食べます。
えさは海にもぐってとり、あおむけにうかびながら食べます。
かたい貝は、おなかの上においた石にたたきつけてわります。
貝をわる石にはお気にいりがあり、一生同じ石をつかいつづけます。
つかわないときは、わきのしたのポケットにしまつて、なくさないようにしています。

ラッコの大好物のウニは、こんぶを食べてしまいういきものです。
ラッコがウニをたくさん食べることで、こんぶの森はまもられています。
こんぶの森は、たくさんの魚やどうぶつのすみかなので、ラッコは海をまもる大切などうぶつなのです。

せんたく(1)

ラッコはおもにどこですごすのですか？
えらんで○をつけましょう。

① 海の上

② りくの上

③ 川の中

せんたく(2)

えさを食るとき、どんなしせいですか？
えらんで○をつけましょう。

① りくにあがつて

② 立つたまま

③ あおむけにうかんで

きじゆつ(1)

かたい貝をどうやってわるのですか？

きじゆつ(2)

お気にいりの石をどこにしまうのですか？

かん字

かん字に直して書きましょう。

(1) おうじ

(2) おと

(3) たけ

コツメカワウソ

水べの
アイドル



コツメカワウソは、アジアの川や池のそばにすむ、せかいで一ばん小さなカワウソです。

「コツメ」という名まえのとおり、前あしのつめがとても小さく、人間と同じように五本のゆびがあります。

生まれたばかりの赤ちゃんは、まだおよげなため、水に入ることをとてこわがります。そこで、お父さんとお母さんが毎日すこしずつ、およぎ方をていねいに教えます。一人前におよげるようになるまで、なん週間もかかるのです。

およげるようになると、水の中のえさとりがはじまります。水の中では、小さな前あしを上手につかって川のその石をひっくりかえし、かにや貝を見つけて食べます。

コツメカワウソは、一生同じあいてとくらします。夜ねむるときは、なかまと手をつないでねむったり、水のながれにまかせて、うかびながら休んだりすることもあります。なかまとよりそいあつて、きずなをふかめていくのです。

せんたく(1)

夜ねむるとき、なかまとどうやってねむりますか？
えらんで○をつけましょう。

①せなかをあわせて

②手をつないで

③はなれてひとりで

せんたく(2)

コツメカワウソは一生だれとくらしめますか？
えらんで○をつけましょう。

①ひとりで

②同じあいて

③ちがうあいて

きじゆつ(1)

なぜ生まれたばかりの赤ちゃんは水に入ることをごわがるのでしょうか？

きじゆつ(2)

水の中では何をつかってえさをさがすのでしょうか？

かん字

かん字に直して書きましょう。

(1)くち

(2)たに

(3)たま

--	--	--

フェネック

さばくの
こぎつね



フェネックは、アフリカのサハラさばくにすむ、きつねのなかまです。体の大きさはねこほどしかなく、せかいで一番小さなきつねです。ところが、耳だけは体の半分もあるほど大きいのです。この小さな体と大きな耳のすがたから、「さばくのこぎつね」とよばれています。

大きな耳には、さばくのアツさからみをまもるはたらきがあります。また、とおくの小さな音までよく聞こえるので、すなの中にかくれた虫なども見つけることができます。

さばくのすなは、おひさまにやかれて、とてもアツくなります。でも、フェネックの足のうらにはふさふさの毛がはえていて、アツいすなの上でもあることができます。

昼のさばくはアツすぎるので、すなのおかにほった、すずしいすあなの中で休みます。夜になるとかっとうして、虫やトカゲ、木のみなどを食べます。すあなでかぞくといっしょにくらし、赤ちゃんも、すあなの中で大切にそだてられます。

せんたく(1)

フェネックはいつかっとうするのですか？

えらんで○をつけましょう。

①朝

②昼

③夜

せんたく(2)

大きな耳のはたらきはどれですか？

えらんで○をつけましょう。

①水をためる

②アツさからみをまもる

③そらをとぶ

きじゅつ(1)

なぜ「さばくのこぎつね」とよばれるのですか？

きじゅつ(2)

足のうらに毛があるのはなぜですか？

かん字

かん字に直して書きましょう。

(1)むぎ

(2)こめ

(3)さと

--	--	--

クアツカワラビー

いつでも
えがお



クアツカワラビーはオーストラリアの小さな
しまにすんでいる、カンガルーのなかまです。
口の形が、いつもにつこりわらっているように
みえるため、「せかいで一番しあわせなどうぶ
つ」とよばれています。

カンガルーのなかまなので、お母さんのおな
かにはふくろがあります。生まれたばかりの赤
ちゃんは、とても小さくて、まだ毛もはえてい
ません。このふくろの中でおちちをのんで、や
く六か月間かけて、ゆつくりそだつていきま
す。

昼はしげみのかげでやすみ、夜になるとかつ
どうします。木のぼりがとくいで、えだの上ま
でのぼって、草やはっぱをたくさん食べます。
そして、人間をこわがらない、めずらしいど
うぶつでもあります。人がちかづいてもにげず
に、自分からちかづいてくることさえありま
す。そのにつこりえがおといっしょに写真をと
ろうと、せかいじゅうから、たくさんの人がし
まをおとずれます。

せんたく(1)

クアツカワラビーはどんなせいかくですか？
えらんで○をつけましょう。

- ① ひと人をこわがる
- ② ひと人をこわがらない
- ③ ひと人をせめる

せんたく(2)

クアツカワラビーはなにがとくいですか？
えらんで○をつけましょう。

- ① およぐこと
- ② あなをほること
- ③ き木にのぼること

きじゆつ(1)

なぜ「しあわせなどうぶつ」とよばれているのでし
ょうか？

きじゆつ(2)

赤ちゃんはお母さんのどこでそだちますか？

かん字

かん字に直して書きましょう。

(1) おんな

(2) かようび

(3) あね・いもうと

・		

ようび

ラッコ

せんたく (1) ① (2) ③

きじゅつ (1) おなかの上の石にたたきつけてわる

(2) わきのしたのポケット

かん字 (1) 王子 (2) 音 (3) 竹

コツメカワウソ

せんたく (1) ② (2) ②

きじゅつ (1) 前あし (2) まだおよげないから

かん字 (1) 口 (2) 谷 (3) 玉

フェネック

せんたく (1) ③ (2) ②

きじゅつ (1) あついすなの上でもあるけるように

(2) せかいで一番小さなきつねだから

かん字 (1) 麦 (2) 米 (3) 里

クアッカワラビー

せんたく (1) ② (2) ③

きじゅつ (1) 口の形がわらっているようにみえるから

(2) お母さんのおなかのふくろの中

かん字 (1) 女 (2) 火ようび (3) 姉妹